



春

「名探偵コナン」展

放送30周年記念TVアニメ

2026年4月4日(土)～4月26日(日)

休館日:4月6日(月)

一般/1,900円(前売/1,700円)

(主催)日本海テレビジョン放送株式会社 (共催)鳥取県立博物館

放送30周年を記念した、TVアニメ「名探偵コナン」ならではの企画をご用意しました。

展示を巡るとTVアニメ「名探偵コナン」の制作過程の裏側を知ることができます。絵に色がついて、キャラクターが動き、話します、TVアニメ「名探偵コナン」が完成するまでを辿っていきましょう。また、TVアニメの名場面を集めたエリアや企画展スペシャルムービーも必見です。

TVアニメ「名探偵コナン」の30年の歴史を体感してください。



©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996

夏

妖怪・幻獣づくし

2026年7月4日(土)～8月30日(日)

休館日:7月6日(月)・13日(月)・21日(火)・27日(月)、8月3日(月)・17日(月)・24日(月)

開館延長日:会期中の土曜日(19時まで開館)

一般/1,000円(団体・前売/800円)

(主催)つくし展実行委員会、読売新聞社 (特別協力)兵庫県立歴史博物館

現在人気を博している日本の妖怪ですが、かつては人間を超えた力を備えた存在として、長らく畏れの対象とされていました。それは、妖怪が自然の恐ろしさを具現化したものだったからです。また、時に異様な姿かたちや超常的な性質を帯びた生き物「幻獣」は、妖怪と実在の生物とのあいだを揺れ動きながら、この世界の限界を超えるものとして人びとを魅了します。この展覧会では、妖怪と幻獣をとおり、日本人と自然とのかかわりの歴史を明らかにしていきます。



筑前化物絵巻「酒盗鳥」(個人蔵/鞍手町歴史民俗博物館寄託)

秋

名和長年とその一族 (仮称)

2026年10月31日(土)～11月29日(日)

休館日:11月2日(月)、9日(月)、16日(月)、24日(火)

一般/700円(団体・前売/500円)

(主催)名和展実行委員会

鳥取県西伯郡大山町御来屋周辺を本拠地としていた武士・名和長年は、後醍醐天皇の鎌倉幕府討幕を助け、功績をあげたことで広く知られています。また、長年の死後その一族たちは、肥後国(現・熊本県)に移り戦国時代まで領主となり、近代には貴族院議員としても活躍しました。

本展示では、名和一族の700年にもわたる歴史を、様々な資料を通して紹介します。さらに、名和男爵家に伝わった文書や、名和長年とその一族を祭神として崇敬を集めている名和神社の宝物など、新出の関連資料を一堂に展示します。



名和長年像(宇和川楓苑筆 個人蔵)

冬

鳥取県があつめた美術コレクションでたどる 旅するアーティスト (仮称) 江戸時代から現代まで

2027年2月20日(土)～3月14日(日)

休館日:3月1日(月)、8日(月)

一般/400円(団体/300円)

(主催)鳥取県立美術館 (共催)鳥取県立博物館

江戸時代から現代までの各時代のアーティストたちが制作した作品を、「旅」をキーワードにあらためて見つめ直し、セレクトして展示する展覧会です。作家自身が実際に旅をしたり、留学をしたりする中で制作した作品や、旅する人物を題材とした作品、そして自らの想像世界における「内なる旅」の成果物とも呼ぶべき作品など、さまざまな視点で旅にまつわる作品をピックアップし、旅というものがアーティストや美術作品にもたらす意味や豊かさについて考えてみたいと思います。



小早川 秋聲《絲綢之路屏風》右隻 鳥取県立美術館蔵

PERMANENT EXHIBITION

通常展示

一ノ蔵

とっつりの自然史



二ノ蔵

とっつりの歴史と民俗



三ノ蔵

とっつりの藩と城



一般/180円(団体/150円)

次の方は無料: 大学生以下/70歳以上/学校教育活動での引率者/障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者

いつでもご利用いただけます

※二ノ蔵の展示ケースLED化のため、二ノ蔵と三ノ蔵を閉室する期間があります。詳細はHPでご案内します。

開館時間

9:00～17:00 (入館は16:30まで) ただし、夏の企画展期間中の土曜日は 19:00 まで開館

問い合わせ先

鳥取県立博物館 〒680-0011 鳥取市東町2丁目124番地

TEL 0857(26)8042(代) FAX 0857(26)8041 E-mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp

最新情報はホームページ等でご確認ください



博物館 HP

